



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第29号 (H23.1.18)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



今年 の 目 標 ! 渋谷 周平

昨年の僕の目標は、この泉ヶ丘附属中学校へ合格することでした。1年前のこの時期は、目標を達成するため、一生懸命に頑張っていました。それから1年たって、無事目標を達成しこの学校にいます。しかし、昨年の1年間は、足りなかったことも数多くありました。それらをまた繰り返さないように今年の目標としたいと思います。今年の目標は、4つの項目があります。まず1つ目は、他人の迷惑になる行動、非常識な行動をとらないということです。(中略)二つ目は、身の回りの整理整頓を改善することです。昨年よりは良くなったと思いますが、まだ足りません。(中略)三つ目は、字や計算の式を丁寧に書くということです。一番の原因は字が雑だからと感じました。(中略)四つ目は、学校の行事の準備などの手伝いをもっと積極的にするということです。昨年は、学校説明会や都泉祭などの行事がありました。僕は、それらの準備等を進んであまりできませんでした。3学期は新入生の選抜検査があります。まずは、その準備から一生懸命にしていこうと思います。中学1年生の生活もあと3学期を残すのみとなりました。それが終わるともう中学2年生となり、新入生も入ってきます。前に述べた今年の目標をしっかりと意識して、今年1年を過ごしたいと思います。



～一番の原因は字が雑だからと感じました。(中略)四つ目は、学校の行事の準備などの手伝いをもっと積極的にするということです。昨年は、学校説明会や都泉祭などの行事がありました。僕は、それらの準備等を進んであまりできませんでした。3学期は新入生の選抜検査があります。まずは、その準備から一生懸命にしていこうと思います。中学1年生の生活もあと3学期を残すのみとなりました。それが終わるともう中学2年生となり、新入生も入ってきます。前に述べた今年の目標をしっかりと意識して、今年1年を過ごしたいと思います。

2011年の始まり 「切磋琢磨」

先般ある本を読んでいる時に「玉磨かざれば器を成さず、人学ばざれば道知らず」という言葉を見つけました。この言葉は中国の礼記(らいき)という書物に出てくる言葉だそうです。その意味は、「玉はもともと美しい素質を持っているが、それを磨かなくては宝とするに足りない。人間はどんなに天性に優れていても、学業に励み、修養を積まなければ有用な人となることができない」ということです。ここに「道」という言葉が出てきますが、「道」というのは、どんなことをいうのでしょうか。その本には、人間の歩く道路であると同時に、抽象的には人生行路とか人の生きる道、あるいは物事の道理や真理を意味してと書いてあります。

だからこそ、附属中生全員に自分自身を高めるために心がけてほしいことを書きます。それは、「切磋琢磨」です。勉強、掃除と運動、係活動、部活動、習い事等、何にしてもやらされるのではなく自分からするという気持ちを大事にしてほしいということです。附属中生の中には、「なぜこんなにできるのか」と思うほどの自主的に活動する人がいます。また、同級生や高校生に多くの刺激を受けながら、仲間のよい所をどんどん吸収し、自らの意見や考えを述べ合いながら、自らお互いを高め合う附属中生の姿が数多く見られました。まさしく切磋琢磨です。それは、「言われてからするのではなく自分から」という意識が高いからだと思います。やらされる間は本物ではないし、活動することの本当の楽しさは分からないと思います。失敗しながらも、自分一人で、仲間と協力して何かをやり遂げる経験を積むと活動することの真の楽しさを体験することができます。附属中生には、そのような経験を通してたくましい人間に成長してほしいと思います。

附属中に来て良かったと思えること、それは活動の充実であり仲間とのふれあいだと思います。今年1年、心がけてみてください。

泉ヶ丘附属中 入学者選抜検査実施！

～人気高まる泉ヶ丘附属中！～

1月15日(土曜日)に入学者選抜検査を実施しました。底冷えがする中、緊張感に包まれた中で、210名の児童が受験しました。昨年度は231名の受検者でしたが、本年度は21名減になりました。倍率も5.78倍から5.25倍となりました。しかし、受験者の動向を見ると、明らかに泉ヶ丘附属中の人気が高まっています。それは何か？昨年度は受検校が42校でしたが、本年度は51校に増加していることです。エリアも広がり、県内地域の多くの児童保護者が注目していることがわかりました。これもひとえに現1期生の頑張りが波及していると思います。生徒による学校説明会や体験活動を含めた授業、講演など、注目を浴びる事柄が多くありました。本附属中の進む方向に間違いはないことがある意味では実証されているのではないのでしょうか。今後とも常に注目される学校になれるように日々子どもたちと職員が一緒にチームになって取り組んで参ります。保護者や地域の皆様よろしくお願いたします。



入学者選抜検査内容	
作文(40分)	
適性検査	第1部:(50分)
適性検査	第2部:(50分)
適性検査	面接:集団面接



(受験を控えた児童の様子です)



現在、自然科学探究のまとめを行っています。どんなことが分かったのか、楽しみです！

飯田 倫太郎	スピーカーの仕組み	平川 亮介	大気圧とは何だろうか	濱田 晏壽	なぜ虹の色はカラフルなのか？
海野 青藍	飛行機はなぜ飛ぶのか	松元 亮	水質汚染について	廣田 佳穂	水と油の関係について
榮福 和希	結晶について	溝口 凱斗	リニアモーターの実験	藤岡 ゆい	夕焼けは、なぜ赤い？
小野 陽正	土砂崩れについて	宮崎 稜大	二酸化炭素の気温への影響について	益留 菜央	着色料について
尾前 勇向	波の押し寄せ	森山 陵	水蒸気・氷についての研究	吉永 愛里彩	塩酸卵はどうつくる？
木脇 英嗣	物の燃焼について	湯地 晃太郎	シダ・コケ・藻類の体の仕組み	渡邊 美波	シャボン玉の色について
桑畑 和希	炭電池について	吉川 猛留	朝顔と酸性雨	稲元 七星	スチールウールの実験
渋谷 周平	大気圧とは何だろうか	伊勢 宥李	色と人のつながり	入江 彩花	植物の成長
瀬ノ口 敬斗	雲はどうやってできるのか	新田 海斗	豆電球の研究	大井 美伶	海水から塩を取り出そう！
茶谷 瀬那	虹について	新田 源斗	豆電球の研究	奥野 成美	星 ~流星群など~
中村 誠吾	静電気の性質	原口 龍紀	雷の不思議	鳥巢 佑子	塩害について
永里 光司郎	DNAについて	興梠 七海	電池を作ろう！	橋口 芳菜	ゆで卵と温泉卵のちがいを
永野 達也	天気について	佐藤 咲希	酸性雨調査	末吉 穂乃香	紙飛行機を飛ばそう
西川 竜星	速さと凍ることの関係				

